

手話言語法の制定に向けた取り組みは多くの方に手話等の理解をしていただくよう努めます



井口亮一 議員

必要な配慮と支援は

質問

全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、「障害者差別解消法」が、平成28年4月1日に施行される。町はどのような準備をしているのか。

①行政機関が講ずるべき、差別を解消する

②町の国民が

③対応要領に対する町民からの意見は聞くのか

④「障害者差別解消支援地域協議会」の計画はあるのか。

答弁

福祉介護課長 ①相談及び紛争防止等のための体制の整備として、「相談窓口を明確にしていく

こと」「対応する職員

の業務の明確化」「専門性の向上」が必要で

②対応要領の作成は努力義務ですが、職員

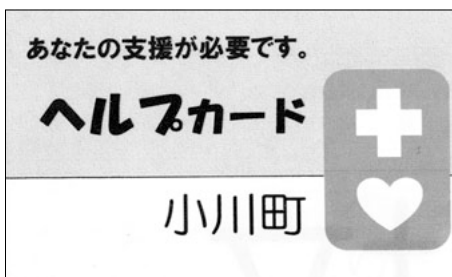
の適切な対応への理解を求めると関係部署と検討していきま

す ③町民から広く意見を求めるのがいいのか。また、障がい者やその他の関係者から意見を聞くのとどまる

④「現在ある自立支援協議会等と兼務できるのか」「新たに障害者差別解消支援協議会を設置すべきか」を郡内の動向を見ながら検討したいと考えています。

その他の質問

◎平成28年度予算の編成に向けた基本方針



あなたの支援が必要です。

ヘルズカード

小川町

障がいの理解や助けを求めるツール



ティームティーチング指導

質問

「全国学力・学習状況調査」を公表することになった理由は。

答弁

学校教育課長 学力の向上は、家庭の理解・協力があつてこそ、達成できるものと考えています。そのためは、客観的な結果を共有することが大切です。学校や教員の評価をするためのもではなく、冷静に分析し効果のある授業改善に結びつけ、連動した家庭学習を進めていきます。

質問

個別の学力に即した指導は

質問

生徒が希望する部活動がなかった場合の対処は。

答弁

学校教育課長 全ての生徒の希望に沿えないことは心苦しく思っています。自校にない場合でも、個人として中学校体育連盟の大会には参加希望の有無を確認

質問

他校との部活動の連携や統合を求めているが。

答弁

教育長ほか 一部ですが、合同で練習や大会に参加している部活動もあります。しかし、積極的にとなると移動中の安全面や練習効率を考慮しなければならず難しいと考えています。

子どもたちのポテンシャルを引き出そう

教育

「全国学力・学習状況調査」公表の理由は情報の共有が大切と考えています



笠原規弘 議員

希望に沿えないことは心苦しく思っています。自校にない場合でも、個人として中学校体育連盟の大会には参加希望の有無を確認しています。

生徒が希望する部活動がなかった場合の対処は。全ての生徒の希望に沿えないことは心苦しく思っています。自校にない場合でも、個人として中学校体育連盟の大会には参加希望の有無を確認しています。

重点施策の子育て支援は最優先でやらなきゃね!



高橋さゆり議員

子育て支援

アプリを活用した情報発信は

順次進めてまいります

質問

近年、自治体でアプリの活用が進んでいるが、考えは。

答弁

子育て支援課長 子どもの予防接種の日程等をメールで知らせるシステムの導入をする動きが広がっています。予防接種の日程だけでなく、乳幼児健診や子育てに関する情報等も配信するなど工夫をし、順次できることから進めていきたいと考えています。

質問

全国の児童相談所に寄せられた平成26年度の児童

虐待の相談件数は過去最多となった。町の現状と取り組みは。

答弁

子育て支援課長 平成26年度は24件で、前年度比9・1%増でした。相談の経路としては、乳幼児健診・児童相談所・小中学校の順になっています。虐待の発生予防・早期対応などのために、要保護児童対策協議会の取り組みを強化しています。

質問

保育園の待機児童が問題になっているが、現状は。

答弁

子育て支援課長 産休・育休明けの6カ月児以降の乳幼児の受け入れについては、町内の保育園は、受け入れることができないう状況となっています。今後、低年齢児の利用希望は増加するものと考えられ、その対策が必要になると思います。



予防接種が始まった2ヵ月児

5 小学校に入学したばかりの1年生が、「集団行動がとれない」「授業中に座ってられない」など、新たな環境の学校生活になじめない状態が続くことです。

4 いわゆるソフトウェアのこと。正式名称は「アプリケーションソフトウェア」です。